

日本史籍講読4－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-408
選択必修 2単位

山本 英貴

1. 授業の概要(ねらい)

前期最後の授業で選定したテキストを読み進めていく。特定のテキストにこだわらない場合は、戦国大名が定めた分国法、豊臣政権・江戸幕府が出した法令、武士や百姓の日記、などを幅広く取り上げる。

2. 授業の到達目標

- ① 史料で頻出する言い回しなどを覚え、史料を返り点なしで読めるようになる。
- ② 辞書などを参考に史料を正確に現代語訳できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ① 毎回の授業への参加度(10%)
- ② 課題の提出(10%)
- ③ 報告への取り組み具合とその内容(40%)
- ④ 学期末テスト(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストは使用しない。必要な史料は教員がプリントで用意・配付する。

5. 準備学修の内容

- ① 史料の読み方を覚えるため、毎回の授業で配付する課題プリントに取り組み、次の授業に臨むこと。
- ② 履修生は報告を担当する際、史料の書き下し文と現代語訳、語句・人名の解説、史料から読み解いたこと、を記したレジュメを作成すること。

6. その他履修上の注意事項

毎回の授業は、履修者が作成したレジュメをもとに進めていく。他の履修者にも関わることであり、報告を担当する際はしっかりとレジュメを作成すること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------------|
| 【第1回】 | 報告者の選定、報告レジュメ作成についてのガイダンス |
| 【第2回】 | 史料の輪読 |
| 【第3回】 | 発表と質疑応答① |
| 【第4回】 | 発表と質疑応答② |
| 【第5回】 | 発表と質疑応答③ |
| 【第6回】 | 発表と質疑応答④ |
| 【第7回】 | 発表と質疑応答⑤ |
| 【第8回】 | 発表と質疑応答⑥および確認テスト |
| 【第9回】 | 発表と質疑応答⑦ |
| 【第10回】 | 発表と質疑応答⑧ |
| 【第11回】 | 発表と質疑応答⑨ |
| 【第12回】 | 発表と質疑応答⑩ |
| 【第13回】 | 発表と質疑応答⑪ |
| 【第14回】 | 発表と質疑応答⑫および学期末テスト |
| 【第15回】 | 学期末テストの解説(オンライン授業) |